※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	『改訂版　高等学校　言語文化』（数研出版）						
副教材等	『新精選　古典文法　三訂版』『新精選　古典文法　準拠ノート改訂版』（東京書籍） 『プレミアムカラー　国語便覧　改訂版』 『プレミアムカラー　国語便覧　準拠ワーク　改訂版』（数研出版） 『読んで見て聞いて覚える　重要古文単語 315　４訂版』（桐原書店） 『図解全訳古語辞典』（旺文社） 『力をつける古典　ステップ１』（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、古文の言葉やきまり・漢文の訓読のきまりなどについての基本事項を学びながら、古典や近現代の様々な文学作品に触れ、日本の言語文化についての理解を深めていきます。
・授業で扱う文章のみならず、たくさんの文章を何度も繰り返し読みましょう。漢字を読み書きし文章の中で用いたり、分からない言葉を辞書で調べたりして、語彙を豊かにしましょう。
・授業後には学習内容を振り返って丁寧に復習することを習慣にしてください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文の言葉やきまりについて基本的な事項を学ぶ ［教材］ 宇治拾遺物語 「検非違使忠明」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：進んで文語のきまりについて理解し、自分のものの見方を深め、学習課題にそって作品の内容について批評しようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
	自分の体験から適切な題材を決め、表現する ［教材］ 枕草子 「ありがたきもの」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：進んで作品の文化的背景を理解し、文章に表れているものの見方を捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている	定期考査 ノート	定期考査 ノート ワークシート	小テスト ノート ワークシート
	訓読のきまりについて基本的な事項を学ぶ ［教材］ 「漢文入門」 「狐借虎威」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解し、内容や展開について的確に捉え、学習課題にそって古典から受け継がれてきた表現の技法などについて調べようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
	登場人物の心情を理解する ［教材］ 「羅生門」（芥川龍之介）	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[読]：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて粘り強く捉え、学習課題にそって異なる時代に成立した小説を比較し論じようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
2学期	作品世界が現代に問うているものについて考える ［教材］ 「舟を編む」	a：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：言葉には文化の継承を支える働きがあることを進んで理解し、作品や文章の成立した背景を踏まえて内容の解釈を粘り強く深め、今までの学習を生かして小説を比較して論じようとしている	定期考査 ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	登場人物のおかれた状況や心情を読み取る ［教材］ 伊勢物語 「芥川」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで作品の文化的背景を理解し、文章の種類を踏まえて内容や展開について的確に捉え、学習課題にそって古典から受け継がれてきた題材について発表しようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
	「詩」について学び、近代詩の展開を把握する ［教材］ 「サーカス」 「I was born」	a：我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[書]：「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：進んで我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解し、作品に表れているものの見方や感じ方を積極的に捉えて内容を解釈し、学習課題にそって互いの解釈の違いについて話し合おうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート ワークシート	ノート ワークシート
	それぞれの場面に描かれた作者の心情を理解する ［教材］ 土佐日記 「門出」 「帰京」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品の文化的背景を理解し、作品と他の作品との関係を踏まえて内容の解釈を深め、今までの学習を生かして異なる時代に成立した作品を比較して論じようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
3学期	漢詩に描かれた情景や心情を読み取る ［教材］ 漢詩 「静夜思」 「送元二使安西」	a：古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：言葉には文化の創造を支える働きがあることを進んで理解し、作品に現れているものの感じ方を積極的に捉えて内容を解釈し、学習課題にそって作品を比較して論じようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
	人物の言動や心情を読み取る ［教材］ 平家物語 「木曾の最期」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章の内容を的確に捉え、学習課題にそって古典から受け継がれてきた芸能の題材について調べて発表しようとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	小テスト ノート
	物語と現実との関係に注目して、作品世界について考える	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「初恋の」	b[読]:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c:文章の意味は文脈の中で形成されることを進んで理解し、文章の構成や展開について積極的に評価し、学習課題にそって作品の内容について討論しようとしている。		ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　９５　）時間